演習Ⅰ

担当者 閻　和平

開講時期 通年　　**単　位** 4

●講義の概要

前半では、テキストを輪読し、住宅経済･住宅政策の分析ツールを習得する。後半では、履修者の関心・研究テーマ・学会の動向を総合して論文を選定し、読解しながら論文作成の実践的トレーニングを行う。

●講義の到達目標

住宅経済学の理論枠組みを学習し、日本や中国などが直面している具体的な政策課題を考察し、それに関連する住宅施策の有効性を検証し、受講生の住宅政策分野の修士論文作成に必要な素養・研究能力を高める。

●講義計画

具体的な講義日程、講義内容については、履修者の研究計画を考慮して決める。理論と実証分析をバランスよく学習していく。

●成績評価基準と方法

評価方法

1．講義理解課題小レポート　70%（10%×7回）
　　次回講義に提出

2．レポート提出　30%

評価基準

1．読解する文献内容を正しく理解したか。

2．論文の学術作法を身につけたか。

3．住宅政策に関連する基本理解ができたか。

●テキスト又は参考文献

なし。

●受講上の留意点

常に修論の作成を意識して授業に臨むこと。

毎回の授業範囲を予習し、分からなかった用語や概念をまず自分で調べて理解に努めること。